

日本共産党 ひめだ高宏三一文

No. 38

08.11.12

支所 連絡所 住民サービス廃止の計画

10月28日(火)市・自治振興課より市会議員に、現在支所で扱っている届書(戸籍・住民異動・印鑑登録)や支所・連絡所で扱っている各種証明書(住民票・戸籍謄本・印鑑証明・身分証明・記載事項証明・年金現況届)の発行業務を廃止し、新たに「サービスセンター」を設置するとの説明があったということです。

「サービスセンター」は、市内全域7カ所で、既存の施設(敷地)を有効利用することのこと。河西、河北、河南、東部、中央のコミュニティセンターには、2010年度中に開設する計画だということです。

日本共産党 市議会議員 市長に住民の納得得よと申し入れ

この「サービスセンター」の設置については、11月5日(水)日本共産党市議会議員団は、大橋市長に対し、住民票の発行と印鑑登録や証明など支所・連絡所での利用数は23万件もあり、場所が遠くなる

アリの人々

<581>



10年度中に開設する計画です。南部は南保健センターを建て替えて、北部は直川用地に建設中の複合施設に2010年度中に開設する計画だということです。

こんにちは 議員の ふじい健太郎 です。 (その227)

灯油18L価格が9月に2400円だったのが、先週は1600円にまで下がっていました。重油、軽油やガソリンなども一気に値下がりしています。5、6年前に比べると依然高値です。

諸物価の高騰に加え、アメリカ発の金融危機の影響と円高が県内企業の景況感を冷や込ませ、年末の資金繰りへの懸念が寄せられています。



ふじい健太郎
県議会議員

そこで、県議団で県信用保証協会を訪れ、中

繁がるとしています。サービスセンターの設置に必ず準備費用も示していません。行財政改革の目的は

小事業者の資金需需への対応について懇談しました。経営状況が悪化している6/8業種について無担保で8000万円まで保証することや県が新たに設けた8000万円を限度に10年返済の再借替融資制度の利用見直しなど意見交換しました。

保証協会が保証しても銀行が首をタテにふらないと融資の実行はできません。紀陽銀行との懇談も予定していますが、県民のしっかりとした姿勢も求められています。

市中小企業緊急経済対策資金融資創設

市が11月10日(月)から創設した「和歌山市中小企業緊急経営対策資金融資制度」は次のとおりです。

【融資対象者】市内において1年以上同一事業を営む中小企業者で、中小企業信用保証法第2条第4項(セーフティネット保証)第5号の規定に基づく特定中小企業者として市長の認定を受けた方

- 【融資条件】(1)資金用途・運転資金 (2)融資限度額・1千万円以内 (3)融資利率・年/2%以内 (4)返済期間・8年以内 (5)融資枠・約10億円(ただし融資枠に達し次第締め切り)
- (6)その他 和歌山県信用保証協会の所定の条件
- 【実施期間】08年11月10日(月)～09年3月31日(火)まで(ただし融資枠に達し次第締め切り)

達し次第締め切り) ☆セーフティネット保証5号認定について

【対象中小企業者】経済産業大臣が指定した「不況業種」に属する事業を行う業種に属する事業を行う業種に属する業種を営む平均売上高が前年同期より3%以上減少している(1)製品等原価のうち20%以上を占める原油等の仕入価格が上昇しているのに製品等価格に転嫁できていない(2)最近3ヶ月間の平均売上(3)最近3ヶ月間の平均売上

くんぽんちは



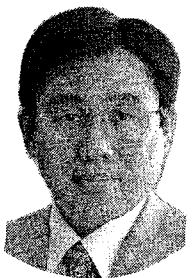
日本共産党

うぶんの製めん業者さんとお話したときのことです。最近では原料の値上がりや冷凍ものの利用の増加などで経営はきびしいとのこと。「政治に望

むことは」とお聞きすると「小泉さんに期待したけどダメでした」、「若者が希望もてる日本にしてほしい。日本に生まれよかったです」と言えるようになっていきました。数日後、若者の集まりに参加した際、求職中の人、経済的な理由で受診を控える人を目的の当たりとして胸

を痛めている診療所勤務の人、高い保育料に悩む人などから、さまざまなお怒りや不安をお聞きしました。

「希望ある日本」の実現へ力を尽くします。



くにしげ秀明 (衆院区北例)

総利益又は平均営業利益率から前年同期と比べて3%以上減少している中小企業の

【問い合わせ先】 産業部 産業総務課 435-1040

方(と水かに該当する方)

消費増税に反対をうらめく：消費税は低所得者ほど負担が重く、大企業は1円も負担しないなど、最悪の不公平税制。

消費増税に反対、庶民の減税実施

もに格差是正にもつながら、高齢者増税を元にもどす：公的年金等控除の最低保障額を120万円から40万円に戻す。一定所得以下の高齢者については老年者控除を復活する。高齢者の住民税非課税限度額(125万円)を復活する。

市南後援会でハム売ります

日本共産党和歌山市南ブロック後援会では、運動資金づくりの1つとして、ニッポンハムのハム、焼豚、ウインナー、ソーセージなどを(贈答用セットあり)と生ハム、レトルトカレー、高野とうふの販売に取り組みることになりました。今週号(16日付け)の日曜版にピラを折り込んであります。

少しお得な割引価格となっています。お買い求めいただける方は、お近くの後援会世話人さんか、私、ひめだまでご連絡ください。よろしくお願ひします。

街頭演説のお知らせ

11月15日(土)

午前10:30～

和歌山南ゴトウ前

山下よしのり

くにしげ秀明

せひお聞きたさい。